

聞きたい 一般質問

公明党

第1回定例会の一般質問は、3月6日、9日の4日間にわたり行われ、23名の議員が当面する市政の課題や運営について、市長の姿勢や考え方をたどりました。主な質問・答弁は次のとおりです。

黒目川上流親水化の着実な整備実施を！

仲 議員

——落合川、現工事箇所
の取り組みと、東京都への
今後の働きかけは。
市長 東京都は、現河川
の一部を埋め立てて新河川
に付け替え、地蔵橋付近の
整備区間全体として自然環
境の向上を図ることとして
いる。下流域について何ら

かの形で自然環境を残すよ
う配慮できるのか、今後、
都と調整していきたい。

——黒目川上流親水化に
伴う、Aゾーン整備の進
捗状況、19年度の取り
組みについて伺う。
環境部長 保全ゾーン
と位置付けをし、4区間に
分け、4年間をかけて各区
間の特性を生かしつつ、下
水道雨水幹線整備に合わせ
市民が親しめる良好な水辺
環境となるよう整備を推進
していきたい。長福寺・
天神橋間の護岸の断面確保
・保護、河川が蛇行してい
ることから水衝部の保護
等の整備を考えている。

一人暮らし高齢者の安全確認は？

藤本 議員

——都市農業推進のため
の、共同直売所、市民
農園、体験型農園の現状
と今後の見通しは。
市民部長 JA東京み
らい管内の第3号店が、東
久留米支店に、本年秋を目
途に開設予定。農地所有
者の高齢化や相続等から2
園が閉園予定であり、用地
の確保に苦慮しているが努
力したい。市の中央部に
2園目の開設に向け農家と
協議中。

——一人暮らし高齢者へ
の対応策は。
健康福祉部長 社会福祉
協議会・民生委員・地域の
活動団体等の協力を得て地
域包括ケアネットワークの
構築に取り組む。

——高齢化に伴い投票所
の変更は考えられないのか。

選挙管理委員会事務局長
全体的に見直す必要がある
り、本年秋より調査・検討
を目指し努力していく。

喫緊の行政課題に 取り組め

沢田 議員

——家庭ごみ有料化に向
け、ボックス収集から戸別
収集への変更のスケジュール
を明確にすべき。
市長 有料化の準備作業
とともに、収集業務の委託
化を含め適正な制度構築と
効率的な収集・運搬処理を
総合的に検討していきたい。

火災保険の契約は 適切か？

上田 議員

——「なかまの家」の建
物に係る火災保険の再調査
価格は適切か。
総務部長 市の公共建築
物は社団法人全国市有物件
災害共済会の建物総合損害
共済保険に加入しており、
同共済会の判断した条件の
下に契約をしている。

——わかさ学園移転に
伴い、充実に向けた目標を
達成するための課題は。
健康福祉部長 現場職員
の意識改革、ノウハウの継
承、他機関との連携、活用
のための職員の確保が課題
になると考えている。

——市道110号線について
都市計画道路の位置付けと
の関係は。
都市建設部長 都市計画
決定された区域を道路法の
規定により市道認定をし、
整備を進めている。

——六仙公園内における、
公有地の買収交渉、わか
かさ学園移転補償費と買
収費の見直しは。
市長 今後も東京都に

——市内農業について、
農業者の努力、農地を
残す観点から生産緑地一部
解除を認める考えは。
市民部長 営農団体に
よる土壌診断や各種勉強会
の実施、エコファーマー取
得者を対象とした土づくり
講習会への参加、認定農業
者の資格取得など、さまざま
な取り組みがある。

——障がいの移動支援
について、上限時間を超え
たため自費で負担している
部分は市で対応を。
健康福祉部長 1月から
3月までの実績を踏まえた
上で、利用者の方々と再度
話し合いをする予定。

——市民部長 現在、新たな
緩和措置の情報はないが、
法令等に基づき適正に対応
していきたいと考える。

——増税の影響を受ける
高齢者の実態を考慮し、介
護保険料の負担軽減策の拡
大を求める。
健康福祉部長 13年度か
ら市独自の減免・猶予制度
を実施し、18年度に要綱の
見直しも行っており、さら

——平成20年4月から、
現役より所得の少ない70歳
から74歳までの高齢者医療
費の窓口負担が、1割から
2割へ引き上げが予定され
ている。緩和策の考えは。
市民部長 現在、新たな
緩和措置の情報はないが、
法令等に基づき適正に対応
していきたいと考える。

——市民部長 減らそうとして
も減らせないとところへの行政
の一定の配慮は必要と考
える。ぜひ排出者一人ひとり
が自らの問題と考えるきつ
かけにしていきたい。
——急がず慎重に議論を
重ねて対応していくよう要
望する。

民主党

積極的に働きかけていき
たい。
都市建設部長 良いほ
うに向かうように努力してい
く。ご理解を。

落合川の小沢谷の 埋め立てに反対

杉原 議員

私は、湧水を守る立
場からできるだけ自然を残
した対策で湧水を守りたい
との基本的考えを持ってい
る。12月議会での落合川埋
め立て反対の請願可決を受
け、市長の決断を求める。
見解は。湧水条例には
保全に関し、市民等の意見
を反映するよう措置を講じ
るとあるが違反ではないか。
市長は東京都に対し何か
動かれたことがあったか。
市長 現河川を埋め立
てるといふ都の基本的考え
は理解しているが、できる
だけ自然環境を残したいと
の思いがある。今後、配慮
ができるのか都と調整して
いきたい。都の計画の中
でも湧水を保全しながら新
河川との関係を考えていく
との考えであり違反してい
るとの認識はない。た
びたび北多摩北部建設事務
所に出向きアクションは行
っている。

——市民部長 営農団体に
よる土壌診断や各種勉強会
の実施、エコファーマー取
得者を対象とした土づくり
講習会への参加、認定農業
者の資格取得など、さまざま
な取り組みがある。

——障がいの移動支援
について、上限時間を超え
たため自費で負担している
部分は市で対応を。
健康福祉部長 1月から
3月までの実績を踏まえた
上で、利用者の方々と再度
話し合いをする予定。

——市民部長 現在、新たな
緩和措置の情報はないが、
法令等に基づき適正に対応
していきたいと考える。

——増税の影響を受ける
高齢者の実態を考慮し、介
護保険料の負担軽減策の拡
大を求める。
健康福祉部長 13年度か
ら市独自の減免・猶予制度
を実施し、18年度に要綱の
見直しも行っており、さら



中学校地区青少年健全育成協議会事業（バンブー）

——公共施設予約システ
ム導入は一日で予約手続き
ができず、最大23日かかり、
IT環境にない市民にもサ
ービスの後退だが、見解は。
市長 課題もあるが、少
し推移を見守りたい。

——市民部長 営農団体に
よる土壌診断や各種勉強会
の実施、エコファーマー取
得者を対象とした土づくり
講習会への参加、認定農業
者の資格取得など、さまざま
な取り組みがある。

——障がいの移動支援
について、上限時間を超え
たため自費で負担している
部分は市で対応を。
健康福祉部長 1月から
3月までの実績を踏まえた
上で、利用者の方々と再度
話し合いをする予定。

——市民部長 現在、新たな
緩和措置の情報はないが、
法令等に基づき適正に対応
していきたいと考える。

——増税の影響を受ける
高齢者の実態を考慮し、介
護保険料の負担軽減策の拡
大を求める。
健康福祉部長 13年度か
ら市独自の減免・猶予制度
を実施し、18年度に要綱の
見直しも行っており、さら

みんなの力を！

富田 議員

——決算剰余金を市民に
還元できないか。
企画経営室長 個々に還
元するより、行政サービス
向上に役立てる。
——市民に還元・減税す
ることが、より安く、より
良いサービスを提供する
という民間の経営感覚につ
ながると私は思う。

——研究機関の誘導につ
ながると私は思う。

——イオン誘致に関して、
再開発等促進区を定める地
区計画の策定に当たり、事
業者の企画提案書がないの
は手続きに問題がある。何
を基に土地利用転換計画を
つくるのか。
助役 企画提案書はない
が、事業者の環境影響評価
調査計画書を基に協議を重
ね、事業者の提案を受けて
土地利用転換の作業を進め
ている。

日本共産党

学童保育所の 待機児解消を！

原 議員

——学童保育所の待機児
解消を、とりわけ早急に障
がい児の待機児の解消を求め
る。
市長 定員に余裕があつ
ても障害児枠で入所できな
いという状況になっている
が、現在、担当で検討して
おり、少し時間をいただ
きたい。

——障がいの移動支援
について、上限時間を超え
たため自費で負担している
部分は市で対応を。
健康福祉部長 1月から
3月までの実績を踏まえた
上で、利用者の方々と再度
話し合いをする予定。

——市民部長 現在、新たな
緩和措置の情報はないが、
法令等に基づき適正に対応
していきたいと考える。

——増税の影響を受ける
高齢者の実態を考慮し、介
護保険料の負担軽減策の拡
大を求める。
健康福祉部長 13年度か
ら市独自の減免・猶予制度
を実施し、18年度に要綱の
見直しも行っており、さら

社会市長

災害発生時の 体制の整備を求める

問宮 議員

——19年度、地域包括支
援センターの総合相談業務

の充実をどう図るのか。
健康福祉部長 初期段階
での相談対応および専門的
・継続的な相談支援、その
実施に当たり必要となる地
域ネットワークの構築や地
域の高齢者の実態把握等に
取り組む予定。
——17年9月に指摘した
7面へつづく